



志津南 news

志津南ホームページ
http://shizu373.net

志津南学区の人口 (6/1 現在)
世帯数 2,282 総人口 6,277 人
発行
志津南学区まちづくり協議会
Tel(fax) 077-563-6206
E-mail shizuminamimachi@gmail.com

第二次行動計画 今夏策定へ 住民アンケート、グループ会議踏まえ



して6分野(住民による地域自治、地域福祉と健康、生活環境、防災・防犯・交通安全活動、教育・文化、ふれあい活動)を定めており、各分野に計20項目の推進方針、更に実施項目、実施内容が定められます。内容に合わせて、まち協や各町内会・自治会、各種団体が適宜担当することになります。

志津南学区まちづくり協議会(花澤仁左工門会長)は6月10日、第二次行動計画(五力年計画)策定・事業(予算)見直し検討委員会の第四回目の会合を開催しました。写真。

今回の会合は、昨年実施した住民アンケートの報告書の完成を受け、その内容を行動計画に反映させることを議論しました。

行動計画は、推進分野と

第二次行動計画は、前回の第一次行動計画から大きな変更はなく踏襲する形となりますが、4年経っているため、現状に合った内容の一部改めました。

実施担当については、第一回グループ会議で趣旨を説明し理解を得ており、具体的には第二回グループ会議で話していく予定です。

今回の住民アンケートでは「不安に感じていること」

として、「自分や家族の健康」が突出して回答数が多く、「地域福祉と健康」推進

全世帯生活アンケート

最終報告書まとまる



志津南まちづくりセンターはこのほど、草津市の平成29年度がらぶる地域応援交付金(75万円)を活用、全世帯対象のアンケート最終報告書をまとめた写真。報告書は志津南まちづくりセンターで閲覧できるほか、ホームページにも公開しています。

このアンケートには先駆

分野で実施内容を細かく定め、アンケート結果に応えられるよう議論しました。

この第二次行動計画は、今夏に最終案を理事会に答申し、理事会の承認を経て正式に施行される運びとなります。

たという点に意義があり先駆的な取り組みでした。

次に、一世帯に3通の調査票を同封するという変則的な方法が、最終的な回答数の多さに繋がりました。これほど大規模な調査は珍しく、今後の貴重な資料になると思います。

地区ごとの違いが殆どない項目と、明確な特徴がある項目に分かれた点も興味深いものでした。「町内のつき合い」や「生活満足度」に地区による差異はありませんでした。が「不安なこと」や「期待すること」では、明確な差異が確認できました。比較的高齢者が多い地区は、介護や健康問題に関心が高く、30、40代が多い地区では、安定した収入や

教育に関心を示しました。この結果を、地域づくりに活かすことがこれからの課題です。今後の重点課題設定、事業立案などに活用されることを期待します。

最後に、約9割が生活に「満足」や「満足」と回答し、約6割がまちづくり活動への参加に前向きな回答をしました。私たちの生活の延長線上に地域があります。子育てや介護環境の充実、防災・防犯、交通問題の解消、環境美化などは地域を通じて改善されるものです。

今回の調査を通じて、自分や家族の生活課題やニーズに即して、できることから地域に関わっていくことが大切である、ということに改めて実感しています。

グループ会議 二本立ての会計処理を説明



志津南学区まちづくり協議会(花澤仁左工門会長)は6月2日、まちづくりセンターで平成30年度第一回グループ会議を開催、13人が出席しました。写真。

初めに、事務局から各種団体の活動費会計処理要領について説明しました。活動計画書の提出から活動実績報告の提出までの流れを確認しました。特に今年度から活動費予

算は一括交付金と自主財源を分離して明示することになったことから、二本立ての仕組みを理解し、使途についても明朗に処理しよう要望しました。

また、各種団体代表者と課題などについて意見交換しました。その結果、高齢化する現状で次の担い手づくり、町内会や各種団体の連携で事業全般の統廃合を含む見直しが必要との意見で一致しました。

地域ポイントカード導入



志津南学区まちづくり協議会は7月1日、草津市が平成30年度、31年度の二年間実施する「草津市地域ポイント制度事業」への参加を決めました。

近年、地域コミュニティの希薄化や地域活動の担い手不足、各種団体の役員の高齢化等の問題が進んでい

志津南

学区まち

づくり協

議会は7

月1日、

草津市が

平成30年

度、31年度

ます。そんな中、まちづく

り協議会が実施する活動に

新たに参画する者に対し、

換金できるポイントを付与

することで、楽しくまちづ

くりに参加するきっかけづ

くり、これからの地域活動

の担い手の創出に繋げ、地

等。自治連合会や町内会等の主催事業は対象外です。また、まちづくり協議会が指定する事業限定です。

◇対象者
① 草津市内に在住・通勤している者。

② ポイント付与後、初めて迎える3月末日時点で18歳以上の者。

◇付与ポイント数
活動時間が1時間以内は1ポイント、1時間を超すと2ポイント。複数の活動への参加にかかわらず、一日の上限は2ポイント。

◇制度への登録
ポイントの付与を受けよ

◇対象となる事業
まちづくり協議会が主催または共催するイベント、講座および企画・運営会議



徳岡ソラ&ハク 若草五丁目
志津南学区の保護猫ハクちゃんと京都の保護猫ソラちゃんは、同じ猫同士すぐに仲良し兄妹になりました。空き箱に潜り込む妹に、優しく寄り添うお兄ちゃんです。



お兄ちゃんも入ったらあ？

認知症の改善・予防講座に26人



志津南小学校六年生が6月20日、立命館大学びわこくさつキャンパス(BKC)クインススタジアムの地下に保存されている「木瓜原遺跡」を見学しました。



遺跡を見学する6年生

鉄工房遺跡に驚き

うとする対象者は、志津南まちづくりセンターで、草津市地域ポイント制度登録申請書の提出が必要です。◇ポイントカードの発行
提出された登録申請書の

やすらぎ学級第2回講座「認知症予防講座」が6月27日、志津南まちづくりセンターで開催され、学級生26人が参加しました。講師には認知症予防ネット理事長の、高林実結樹さんをお招きしました。写真。

見学後、立命館大学の学生に、キャンパスを案内してもらいました。大きな建物や、大勢の学生が集まる食堂に目を輝かせ、楽しい時間を過ごしました。

草津市観光ボランティアガイドの方に案内していただき、7世紀末から8世紀初めまで、製鉄に使用されていた生産工房を見学しました。大きな遺跡を目の当たりにした子どもたちは、「この時代にも、製鉄や焼きものの作りの高い技術があったのか」と驚いていました。

内容を確認し、対象者の要件を満たし不備がなければ、必要事項を記入したポイントカードを発行します。志津南学区まちづくり協議会の平成30年度対象事業

表情が良く見えるよう椅子を円形に並べ、楽しみながら、認知症予防に関する様々な知識を学びました。講師の掛け声に合わせて、指を順に曲げていくウォー



ふれあい広場オープン
志津南学区社会福祉協議会(上田恒章会長)は5月31日、特別事業の一環として

は、ふれあい夏まつりと事前清掃、健康講座に限定させていただきます。詳しくは志津南まちづくりセンターまで。電話 (563) 6206

ミンクアップから始め、「1から10」「グッパ体操」「トんでん虫」など、記憶の連続訓練・手指の屈伸とリズム感のゲームが始まりました。「輪になったままでスキップ」では、お手玉まわしで、手のひらに刺激を与える上半身の運動をしました。こうしたゲームはアメリカや韓国など、世界的に広がっているそうです。講師から「認知症は恐ろしい病気ではありません。諦めるのではなく、脳の異なる機能を活性化し、改善・予防できます。教えられるリーダーが増えれば、草津市の認知症発症率を低くすることができると、アドバイスをいただきました。

また、自由にお茶が飲める喫茶室も設けました。今後、月一回木曜日に14時から同会館で開催します。

第1回のこの日は幼児小学生約40人の参加者があり、大きな段ボール迷路遊び、輪投げ、青虫トンネルなど種々の遊具、絵本、折り紙で元氣いっぱい楽しく遊びました。またオープンクイイベントとして手作りのピンゴゲーム大会で盛り上がりました。写真。

て、きらり会館を拠点にしたかがやきの丘「ふれあい広場(浅野謙一代表)」を立ち上げました。対象はかがやきの丘の未就園児、保育・幼稚園児、小学生とその家族で、皆が交流できる場の提供を目的としてオープンしました。

オープニングは甲西高吹奏楽部

第21回志津南ふれあい夏まつりは7月28日(土)午後5時30分から若草中央児童公園を会場に開催されます。

今年のオープニングは甲西高等学校吹奏楽部の演奏です。定期演奏会のチケットは即完売の実力の持ち主です。司会者は、この甲西高等学校吹奏楽部出身の若草八丁目の大鹿愛さんです。

近年自転車での来場が多くなっており、会場周辺が混雑しています。今年も若草医療ビルのご協力をいた

夏まつり当日の追分南地区への無料送迎バスの運行は下表の通りです。尚、復路は往路と同じ場所に停車します。お問い合わせは、志津南学区まちづくり協議会(563)6206まで。

追分南地区には、別途乗降場所の地図を載せた運行スケジュール表を全戸配布する予定です。

乗降場所	1	2	3	4
コージーガーデン (アネックス入口)	-	17:00	17:25	17:35
向山ニュータウン	-	17:05	17:30	17:40
かがやきの丘中央	17:00	17:10	17:35	17:45
丸尾	17:05	17:15	17:40	17:50
若草中央通り	17:10	17:20	17:45	17:55

乗降場所	1	2	3	4	5	6
若草中央通り	19:00	19:30	20:30	20:45	21:00	21:15

数えられないほどのホタル



志津南学区地域協働合校推進委員会(斎藤充浩委員長)が6月16日、「ホタルに会いに行こう」を開催しました。

この日は梅雨の合間の晴れということもあり、絶好の観察会になりました。参加者は夜7時30分に志津南まちづくりセンターに集合し、最初にDVDを鑑賞してホタルの生態やホタルが生息しやすい環境について

学習しました。陽が落ちて暗くなった8時頃、ホタルの観察のために伯母川沿いに移動しました。今年はホタルの出現数が多く、若草四丁目のテニスコートから降りていく道からも伯母川沿いを飛び回るホタルの光が良く見えま

いました。子どもたちは草むらの中で光るホタルを見たり、捕まえて観察したりと思いに楽しんで、「数えられないくらいたくさんホタルがいた」とか「ホタルが腕に止まった」などの声が上がっていました。また中にはスタップに「ホタルは何年くらい生きられるんですか」などと質問する子どももあり、ホタルに興味を持ってくれたことを嬉しく思うと同時に、ホタルと共に暮らせるこの環境を守っていきたくと改めて願う観察会となりました。

歯みがき習慣の大切さ学ぶ



虫歯予防月間にちなみ、大きな口のワニさんを使って、小さい頃から歯磨きの習慣をつけることの大切さを訴えました。

また、地域住民の歯科衛生士さんが参加者の子どもをモデルにして歯磨きの指導してくれました。いろいろな質問が出てお母さん方にも大変好評なエプロンシアターとなりました。

健康でいるために



「自分を知ろう」と題し、予防医学を学びました。講師には若草医療ビル整形外科の神前裕子理学療法士さんを招き、健康でいるために「自分を知ろう」と予防医学について話を聞きました。

参加者は姿勢、握力、片足立ち等を行い、自分の体力を知り、運動の必要性を感じました。

最後にみんなで座ったまま体操をして元気に再会することを誓いました。

エジソンの夢

発明王エジソン(1847~1931)は少年時代、大空を翔けることを夢見ていたと言われます。

ただ、その頃の彼は化学に興味をもち、母親のナンシーが化学薬品や器具を買い与えると、それらを用いて薬の開発を試みたそうです。その一つに、飲むと人間が空を飛べるようになる

薬があったといいます。それはヘリウムガスをヒントにして体内にガスを発生させるといって、友人に飲ませたのです。発生するガスの浮力で人間を浮き上がらせる計画でした。



しかし、実際には友人は激しい腹痛でもがき苦しむ大騒ぎになりました。普段はエジソンに理解を示していたナンシーも、この件で

は激怒し、人体実験を厳しく戒めました。その後はどうやら化学者になることは諦め、彼の情熱は電信技術の習得や機器の発明に向かいます。

ところが、エジソンは化学者になろうとしたのですが、さすがのエジソンも危険な実験をそれ以上続ける訳にもいかず、諦めたようです。

しかし、エジソンが試作した火薬エジソンは実験中に爆発、幸い死傷者はなかったのですが、さすがのエジソンも危険な実験をそれ以上続ける訳にもいかず、諦めたようです。

ライト兄弟が史上初の人が乗った動力飛行機を飛ばすことに成功する13年前のことでした。

(太田俊作)

志津南学区健康推進員連絡協議会(荒木キクエ代表)は6月21日、かがやきの丘きらり会館で未就園児と保護者を対象に「はみがきできるかな」のエプロンシアターを開催しました。写真。

地域サロンなごみ会(浅野謙一代表)は6月21日、かがやきの丘きらり会館で

「自分を知ろう」と題し、予防医学を学びました。講師には若草医療ビル整形外科の神前裕子理学療法士さんを招き、健康でいるために「自分を知ろう」と予防医学について話を聞きました。

AEDや消火器の取り扱い学ぶ



若草3、4、5丁目が6月17日、南消防署と草津消防団第2分団の指導のもと、合同防災訓練を行いました。写真。

AEDの取り扱いについての説明では、心肺停止状態の人にはまずは心臓マッサージを行い、その間にAEDを装着すること。心臓マッサージは脳に血液を送る動作で、5分間何もせず放置すると生命に危険が及ぶことなどを学びました。

消火器の取り扱いには3班に分かれ、消防署と消防団の指導で、各町内、男女混合で取り組みました。皆消火器を上手に使用して、初期消火活動を体験しました。

最後に「初期消火はやはり消火器が一番で、火元は消火器で消火できること。

大縄跳び・デイスコンに奮闘



ただ家庭でのてんぷら油火災は高温で危険なので壁に向かって消火器を使い、垂れてくる液体で消火することなどを教わりました。

改めてご協力いただきました、南消防署と第2分団の方々にお礼申しあげます。

ハワイ気分を楽しもう
志津南まちづくりセンターは、第3回志津南やすら



咲き乱れて…華
まちづくりセンターの玄関前に、梅雨時の紫陽花が飾られました。今年は様々な色が咲き乱れ、花言葉「一家団欒」「家族の結びつき」を忘れていたのを思い出しました。

6月17日、第21回草津市スポーツ・レクリエーション祭が市民体育館で開催され、志津南学区からは選手応援を含め約50人が参加しました。台風5号に伴う梅雨前線の影響で降雨が予想されたため、野村運動公園で行われる予定のペタンクと大玉リレーは中止になり、デイスコンと大縄跳びが体育館で実施されました。

志津南学区からはデイスコンと大縄跳びに各チームが出場しました。デイスコンはトーナメント戦で行われ、1回戦、2回戦に勝利したものの、惜しくも3回戦で負けました。大縄跳びは写真は、最高回数2回の合計で競われ、20回と頑張りましたが、残念ながら入賞できませんでした。

ぎ学級を、一般の方も参加していただける講座として開催します。

▽日時 7月25日(水) 午後1時30分
▽場所 志津南まちづくりセンター 大会議室
▽講座名 「ハワイアン音楽を楽しみましょう」
▽講師 アロハ・ウクレレさん
▽内容 ウクレレ、ハーモ

地域の代表として交流を深め、程よい汗をかけた一日でした。

また、当日は、永年にわたる体育振興に貢献された功により、若草6丁目の定塚信行さんに草津市体育振興会連絡協議会から体育功労賞が授与されました。

23日からラジオ体操
志津南小学校PTA(仲田愛美会長)は恒例の夏休み期間中のラジオ体操を次の要領で開催します。

▽実施期間 7月23日(月)～8月24日(金)まで
ただし、土・日・祝及び8月13日から17日は休止
▽時間 午前7時30分(雨天中止)
▽場所 最寄りの児童公園、児童遊園、空き地など
※詳しくはPTA地域部へ。



折々の記
仏道をならふといふは、自己をならふなり。自己をならふといふは、自己をわするなり。自己をわするといふは、万法に証せらるるなり。万法に証せらるるといふは、自己の身心および他己の身心をして脱落せしむるなり。

以上の文言は、道元禅師の「正法眼蔵 現成公案」に書かれています。仏道とは宇宙の法を指しています。社交ダンスは宇宙の心々一

びます。

▽日時 8月30日(木) 9時～12時
▽場所 志津南まちづくりセンター
▽内容 インターネットを利用して、ファイルなどを便利に使えるドロップボックスについて学びます
▽対象 ドロップボックス未経験者
▽定員 先着順 10人
▽参加費 900円

部で、この法に沿って成り立っています。すなわち、仏道を社交ダンスと置き換えても成立します。

社交ダンスを習得する極意がここに示されています。即ち、自己を究明することなのです。まず、講師から技能向上のための指導を受

仏道とダンス
このように物事を見つめていくと、自分の置かれた環境での位置付けや満足度が異なってきます。社交ダンスを通じて自己を研鑽して行くことは見方を変えれば仏道を実践していることになり、自己の成長と社会貢献をしていることに繋がっていくのです。(本道 純)